

2018年  
秋号 (通巻No.280)

# ナンバーゼロ



INDEX

目次

- P2 「ネットワーキング」のすすめ
- P3 ごえんカフェ ご参加下さい
- P4 わくりんが行く! 子母口小学校わくわくプラザ編

平成30年度 **ごえん楽市** (かわさきボランティア・市民活動フェア)

## 出展団体募集

10月19日  
締切

「ごえん楽市」は、川崎市内で活動する市民活動団体が参加する、年に一度の見本市です。今年度も出展団体を募集いたします。

- 日程** 2019年2月2日(土) 午前10時～午後4時
- 会場** かわさき市民活動センター、中原市民館(武蔵小杉駅前)
- 主催** 公益財団法人 かわさき市民活動センター
- 募集数** 企画出展36企画程度/パネル出展50団体/フリーマーケット10団体
- 対象** 川崎市内を中心に活動している市民活動団体、社会貢献活動を行っている団体(企業、学校を含む)
- 申込方法** 出展申込書(募集パンフレットに入っています)に記入していただき、当センターまでご提出ください。



昨年度は86企画  
参加者約1,900名

団体の活動を  
知ってもらえる

様々な団体と  
知り合える



※1団体が複数の参加もできます。応募多数の場合、「企画出展」は事務局で選考、その他は公開抽選となります。  
※詳細は、募集パンフレットをご覧ください。募集パンフレット・申込書は、当センター、市内各区役所、市民館、図書館等の公共施設にあります。また、ホームページからもダウンロードできます。

子母口小学校わくわくプラザ編

### 「だじゃれの時間」

川崎市高津区の子母口小学校わくわくプラザでは、こぼれ遊びを通して子どもたちのことばへの興味を深め、友だちや家族とのコミュニケーションをより楽しんでもらうことを目的として、「一般社団法人日本だじゃれ活用協会」の方々をお招きし、クイズやゲームでだじゃれを楽しむ「だじゃれの時間」を開催しました。70人の参加者を学年が交ざったチームに分けて、「だじゃれクイズ」を始めとしただじゃれを用いたゲームの数々で競い合いました。絵の中から隠れた言葉を探す「かくれんぼ言葉」では、見つからずに悩む低学年の子どもを手助けする上級生の姿に会場の大人たちから笑みがこぼれたり、お題の文字で自由に文章を作る「だじゃれ玉入れ」では、子どもらしい発想の奇想天外な文章がたくさん飛び出してそこかしこで笑いが起こったりなど、常に会場が温かな笑いに包まれた、とても楽しいイベントとなりました。

今回は、「だじゃれ」で楽しみながら言葉の大切さを学ぶことのできる機会を子どもたちに提供することができました。当財団では今後も、様々な活動をされている地域の方々との交流を通して、子どもたちの健やかな成長を見守っていきます。

わたしもむずかしい問題にこたえられたよ! どんなんんだい!

※わくりんは、当財団が管理運営するわくわくプラザ101施設のキャラクターです。

## 2018年度 下期 ロッカー・レターケース利用団体を追加募集しています

資料や図書、用紙、備品等の保管にご利用いただける「ロッカー」、郵便物などの受取り、メンバー間の情報交換などにご利用いただける「レターケース」を貸し出しています。

### 【利用申込みについて】

- ①募集対象**  
当センターに施設利用登録しているボランティア・市民活動団体
- ②利用期間**  
利用開始日(毎月朔日)から、2019年3月31日(日)まで
- ③申込期間・方法**  
申込書(当センターホームページからもダウンロード可)に必要事項を記入のうえ、当センターあてに郵送または持参ください。
- ④ロッカー・レターケースの仕様と料金**  
【ロッカー(大)】高さ810mm×幅260mm×奥行500mm 300円/月  
【ロッカー(小)】高さ510mm×幅260mm×奥行500mm 200円/月  
【レターケース】高さ70mm×幅220mm×奥行330mm 50円/月

### ⑤その他

- ①お申込みは先着順でお受けします。残数がなくなり次第、募集を終了します。
- ②利用開始日(毎月朔日)から、2019年3月31日(日)までの利用料を一括でお支払いいただけます。
- ③団体都合による途中解約の場合は返金しません。
- ④郵便物等の受取りは、レターケースに入る大きさのものに限ります。また、受取人の証明等が必要な郵便物(書留郵便等)は、お預かりできません。
- ⑤宅配便等の荷物の受け取りはできません。
- ⑥ロッカーやレターケースは、利用団体の責任においてご利用ください。鍵の紛失、レターケースを破損した場合は、実費弁償とさせていただきます。



### 【問合せ・申込み】

公益財団法人かわさき市民活動センター  
〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1100-12

ナンバースゼロは今まで36周年

ナンバースゼロは、当センターの前身「川崎ボランティアセンター」が1982年10月に創刊しました。「原点」「限らない拡がり」「ものごとの始まり」ナンバースゼロ「0」は、いろいろな意味を込めて、当時の編集者によって名づけられた紙名です。今号で丸36年、代々の編集者の想いを載せて発行し続けられたナンバースゼロ。これからも大切に引き継いでいきます。

### 予告

かわさき市民活動センターの  
**ボランティア・市民活動のための  
パワーアップセミナー**

会場: エポックなかはら(武蔵中原駅徒歩1分)

- 10/20(土) 13:30~16:30  
初めての経理で困ったら...  
団体の会計事務・簿記の基本のキ  
○講師 原一浩さん 公認会計士 税理士
- 12/1(土) 13:30~16:30  
社会を変えるNPO評価  
-成果を出せる事業のロジックモデル(仮)-  
○講師 粉川一郎さん  
武蔵大学社会学部メディア社会学科教授

※お申し込みは先着順。単回のみのお申し込みも歓迎します。

### ご案内 MAP

ナンバースゼロ 2018年秋号(通巻No.280)

【編集・発行】  
公益財団法人かわさき市民活動センター 市民活動推進課

〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1100-12  
電話: 044-430-5566 FAX: 044-430-5577  
メール: suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp  
WEB: http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/

Facebookでも情報を発信しています。  
<https://www.facebook.com/kc.ac.suisin/>

ポータルサイト「応援ナビかわさき」  
<http://kawasaki.genki365.net/>

◆2018年初夏号は、7名の発送作業ボランティアの方にお手伝いいただきました。

みんなで進めば可能性は広がる!

# 「ネットワーキング」のすすめ

あなたの団体は、地域で行われる市民活動のフェスティバル、見本市などに参加していますか? 団体や市民が集まるイベントにブースを出したり、パネル展示をすることで、主催イベントとは違う層の市民に紹介できたり、他の団体と交流できるチャンスにもなります。積極的に話をしてみてください。自己紹介をし合い、協力関係ができていないのでは、その後の活動に違いが出てきます。違う分野の団体同士でも同じです。



前回の「ごえん楽市」の会場のようす(2018年2月12日)

## こんな効果がありました

(前回の「ごえん楽市」の出展団体アンケートより)

- ◆PR・情報交換・交流ができた
  - ・展示を通して、来場者との意見交換が良かった。
  - ・他団体の様子を見たり、交流したり、広報になった。
  - ・お互いの活動紹介、重なる活動について話し合うことができた。
- ◆勉強になった
  - ・各団体のポスターの作り方が参考になった
  - ・他団体の方のアドバイス頂くなど
- ◆次につながる話があった
  - ・主催イベントの際に、保育で協力してもらえなくなった
  - ・今後連携できそうな団体と知り合った
  - ・イベントで発表していただきたい団体がいくつか見つかった
  - ・他団体の方の見学希望を受けた

## ごえん楽市とごえんカフェ

かわさき市民活動センター主催の2つのイベントは、いずれも今後の活動のヒントやコラボできる相手を見つけることにつながるものです。ごえん楽市は市民活動見本市。一般の市民の方にPRできる場です。同時にたくさんの団体が集まるので、交流のチャンスでもあります。ごえんカフェは、団体も未活動の方も自由に話せるフラットな場の交流会です。

## もうひとつのネットワーク SNS

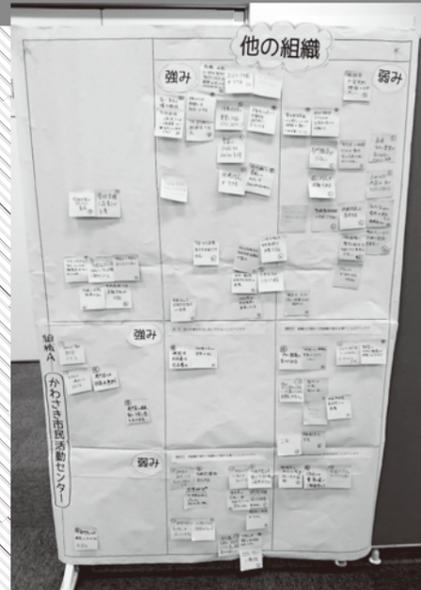
フェイスブック、インスタグラム、ツイッターなどのSNSは、直接会うわけではけれど、強力なネットワークと言えるでしょう。イベント告知、協力者募集につながるツールです。



分野は違うけれど仲間です

## 中間支援ネットワーク会議

7月11日(水)午後、当センターを含む、中間支援機能を持つ市内の6つの団体が集まり、連携を意識した会議を開催しました。今回は「相談機能」について、それぞれの団体が持つ強みと弱みを付箋に書き出し、「強み×強み」「弱み×強み」の組み合わせを切り口に、連携に係る新しい可能性を話し合いました。



ごえんカフェは、地域を良くしようと  
する取り組みに関心がある人と人との交流を  
すすめるイベントです。

# ごえんカフェ

お気軽にご参加下さい!

- 日時 10月13日(土) 13:30~15:30  
(受付・開場は13:00~)  
10月9日(火) 申込締切
- 場所 かわさき市民活動センター
- 対象 ボランティア・市民活動、社会貢献等に関心のある方  
100名
- 参加費 無料
- 内容 市民活動PRタイム、フリートーク等
- 持ち物 名刺やリーフレットなど活動をPRできるもの、イベントチラシなど。自分の飲み物。
- 申込み 参加申込書(チラシの裏面)をご持参いただくか、メール・FAX等でお送りください。(申込書は当センター、各区役所、市民館、図書館等の公共施設にあります。ホームページからもダウンロードできます。)

昨年度のごえんカフェでは、こんな出会いがありました!  
オリックス生命保険株式会社の浅木さんにお話を伺いました。

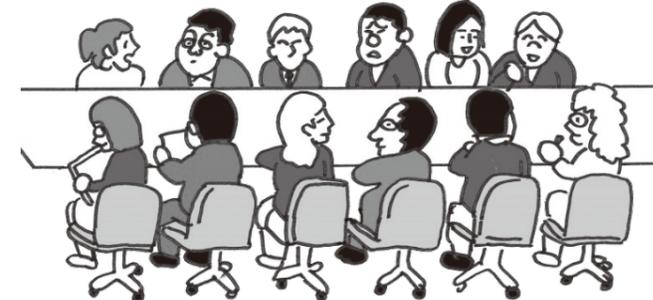


ごえんカフェには、「会社として地域貢献をしたい」「win-winな関係づくり」という目的は持ちつつ、ただ、どんな団体とどんなコラボができるかについては手探りな状態のまま参加しました。まずは川崎にど

んな活動をしている団体があるのかを知ろうと、当日は、様々な分野の団体さんと名刺交換をしつつ、具体的な活動内容についてお話を聞かせていただきました。その中で、この一年間では「NPO法人みどりなぐらし」さん、「NPO法人神奈川健康管理士会」さんの2団体とコラボ企画を実施することができました。打合せを重ねながらお互いの活動の理解を深め、そしてお互いの強みを生かして具体的にどんなことができるのかを考えていく時間はとても楽しい時間でもありました。今後も新たな可能性を探りつつ、新たに一緒に活動ができる団体さんとの出会いも大切にしていきたいと思ひます。今年のごえんカフェでも、新しい出会いを楽しみにしています。

## かわさき市民公益活動助成金

# 審査委員募集



かわさき市民公益活動助成金は、市民活動団体を応援するお金です。

このたび、当助成金の申請事業を審査する審査委員を募集します。市民の目線で市民活動を応援したいという方、ぜひご応募ください。

### ◆申込資格(次のすべてを満たす方)

- ・20歳以上で、市内在住、在勤または在学であること
- ・市民活動歴が5年以上であること
- ・川崎市職員ではないこと(退職者を含む)

### ◆募集人数

2名

### ◆任期

2019年1月1日~2020年12月31日(2年間)

### ◆申込方法

申込書および小論文を下記問合せ先に持参、郵送または電子メールにてお送りください。

- ・申込書 \*様式自由
  - ①氏名(ふりがな)
  - ②連絡先(郵便番号、住所、電話番号、ファクス番号、メールアドレス)
  - ③性別
  - ④生年月日
  - ⑤市民活動歴
  - ⑥申込理由(※簡潔に)
- ・小論文[1,200字程度(書式自由)]  
テーマ「市民活動の推進と団体の自立・発展に助成金が果たす役割について」

※過去に当助成金審査委員会委員の経験のある方は、経験をふまえた見識についてお書きください。

### ◆募集期間

2018年10月1日(月)~10月31日(水)必着

### ◆申込み・問合せ

公益財団法人かわさき市民活動センター  
〒211-0004 川崎市中区新丸子東3-1100-12  
TEL:044-430-5566 / FAX:044-430-5577  
E-Mail:suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp